

**地域行事** 息合わせバチさばきも軽快に  
第28回北秋田祇園太鼓審査会

北秋田祇園太鼓連絡協議会主催の第28回北秋田祇園太鼓審査会が、11月23日に文化会館で開かれ、小中高生や一般の太鼓愛好グループが力強いバチさばきと迫力ある太鼓の響きで観客を魅了しました。

審査会には、市内の小学校から、個人演技の部に11組、団体演技の部に6団体が出場し、これまでの練習の成果を披露しました。

最後は、出演者全員が参加しての100人打ちの合同演奏が披露され、迫力ある太鼓の響きに会場からは大きな拍手が送られました。



**道路開通** 国道285号がより安全かつ快適に  
国道285号滝ノ沢バイパス開通式

一般国道285号滝ノ沢バイパスの開通式が、11月24日に森吉総合スポーツセンターで行われ、関係者約90人が参加し、全線開通を祝いました。

開通式典に先立ち行われた安全祈願祭では、国会議員をはじめ、県や市、県議会議員、施工業者など関係者が玉串を奉てんし、今後の無事故を祈願しました。

この後、津谷市長を含む関係者によるテープカットとくす玉開披が行われ、温かい拍手で迎えられながら、滝ノ沢バイパスの全線開通を祝いました。



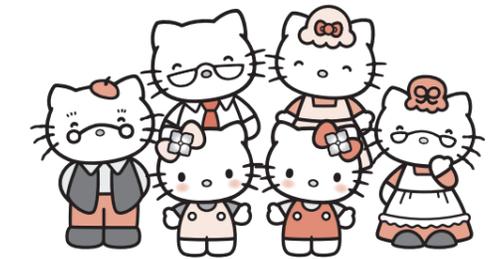
**講座** 劇と講演で認知症を学ぶ  
北秋田市民公開講座

認知症をテーマとした北秋田市民公開講座が、12月13日に文化会館で行われ、約500人が参加して認知症について理解を深めました。

公開講座は2部構成で、第1部は「合川にわか劇団華組」が涙あり笑いありの「そばにあるヌクモリさびしさも晴れになる」と題した寸劇を行いました。第2部では、たかのす今村クリニックの今野直樹院長が「認知症の症状と治療について」と題した講演を行いました。参加者は、熱心に聴き入り、認知症についての知見を広げました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



**食育** 地域で学ぶ 未来へつながる食育  
北秋田市食育フェスタ

北秋田市食育フェスタが、11月17日に市民ふれあいプラザで行われ、参加者は食への関心を高めました。

同フェスタは、市民一人一人が食について理解を深め、望ましい食習慣と自ら選択する力を身に付け、次の世代に普及させていくことを目的に開催されました。

この日は、管理栄養士で東北女子大学教授の松本範子さんの特別講演が行われたほか、野菜350グラム当てクイズ、食塩・砂糖相当量早分かりコーナーなどが設けられ、参加者は食育に関する展示や体験、講演を通して食育への理解を深めました。

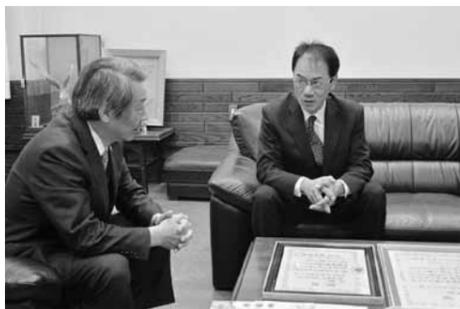


**受賞報告** 株式会社みそらファームが受賞  
農林水産大臣賞、ふるさと秋田農林水産大賞受賞報告

農林水産大臣賞、ふるさと秋田農林水産大賞をダブル受賞した株式会社みそらファーム（五味堀）の若松一幸代表取締役が、11月19日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

この賞は、地域農業のリーダーとして優れた取り組みを実践する個人や団体が表彰されるもので、この度、経営実績が顕著であることが認められました。

若松代表は「システムを用いた農場管理が評価された」などと話し、津谷市長は「素晴らしい報告を受けてうれしく思う」などと受賞をたたえました。



**スポーツ** 心をひとつにジャンプ  
第21回北秋田市ながなわとび大会

第21回北秋田市ながなわとび大会が、11月30日に合川体育館で行われ、参加した選手たちが息を合わせて跳躍回数を競い、心地よい汗を流しました。

競技は、2人のまわし手が長さ10メートルの縄を回し、10人以上の跳び手が跳んだ2回の合計回数を競うルールで行われ、市内のスポーツ少年団、同級生や地域のグループなど14チームが参加しました。

どのチームも一回でも多く跳ぼうと、並び方や掛け声、縄の回し方などを工夫して記録に挑戦すると、家族や観客、参加者から大きな声援が送られました。



**地域行事** 冬の街を華やかに彩る  
第11回きらきらフェスティバル

第11回北秋田きらきらフェスティバルのサンタパレードとオープニングイベント点灯式が、12月9日に米代児童公園をメイン会場に行われました。

この日、クリスマスの仮装をした子どもたちが商店街を元気にパレードして米代児童公園に到着後、カウントダウンで公園内に設置された電飾に明かりが灯ると、参加者や見物客から歓声が上がりました。

今年から北秋田市ふるさと大使のハローキティをモチーフにした電飾がSL機関車などに施されました。イルミネーションは、2月3日まで点灯されます。

